

議員氏名：一石 洋子

議案番号：議員提出決議案第2号

案 件 名：葛川水系周辺の「防災・減災まちづくり」を求める決議について

討論内容：

私は、本案に賛成の立場で討論させていただきます。

本年8月30日、台風10号に伴い発生した豪雨は、今まで県や民間の責任で管理されるべきとされてきた浸水崩落危険区域の減災対策に、国、県の新しい制度も生かし、まちぐるみで関わるべき局面であることを示したと考えています。

現在、流域全体のあらゆる関係者が共同して行う持続可能な治水対策である流域治水への転換が、国を挙げて向かうところです。治山治水は、まさに流域治水そのものであって、県の説明による対策だけでは線状降水帯などの昨今の豪雨量に耐えることはできない状況の中、多様な効果的な実装につながる葛川流域水系会議の注力は非常に重要です。素人の見立てや提案で議論する前に、専門家の科学的な知見とつながり、検証、啓発の下、明確に選択、実行していくことが肝要です。

一般質問のときにも申し上げましたが、崩落危険区域、特に、今般、実際に崩落があったのり面近くのお住まいの方々も、不安を抱えながらも対策を明確に想定できずに過ごされています。

流域治水にかじを切っている国の施策を利用し、命を守るために、すぐにできるリスクコミュニケーションから、中期的、長期的な具体の対応策について、山林の地主、子どもから大人までの住民が専門家と学びながら、行政の施策を共に進められるような仕組みを、議会も、行政も、住民も、連動して持つべきと考えます。

そのような今後の動きへの決意を持って、賛成いたします